

組合だより

【 第280号 平成29年10月 日本羊腸輸入組合 】

当組合主要事業の消毒事業は、昭和39年6月16日に八幡橋消毒所において、パキスタンから輸入された羊腸の消毒を行ったことがその始まりです。

御承知のとおり、OIEコードに基づく家畜衛生条件の発効によって、本年4月から中国からの輸入天然腸は消毒が不要となっていますが、中国以外の国についても10月から消毒が不要となりました。但し、この中国以外の国は(国ごとに進捗状況が異なりますが)、新しい衛生条件の合意、証明書様式や加工保管施設の指定などの天然腸輸入に必要な一連の条件が完全に整っておりませんので、現時点では実質的に輸入停止の状態となっています。

いずれにしても、10月以降、消毒を必要とする天然腸の輸入がなくなりましたので、八幡橋消毒所も9月末に受付けた貨物の消毒が終了すれば、53年4ヶ月の間、担ってきた消毒検疫という大変大きな役割を終えることとなります。

半世紀の間、特に大きな問題や事故がなく消毒事業を遂行できたのは、組合員、組合関係者と何よりも従業員の御尽力の賜物だと思います。

横浜(八幡橋)検査所の閉鎖にあたり、消毒事業に携わっていただいた多くの皆さまに感謝申し上げます。

1. 平成29年9月の主な組合活動報告等

○9月14日 組合三役の農林水産省国際衛生対策室訪問

伊藤国際衛生対策室長他と面談し、中国の第三次施設調査のその後の状況、中国以外の国との新衛生条件の協議状況(別掲)等について意見交換を行いました。

○9月15日 2018年度版カレンダー購入申込書の送付

○9月20日 組合三役の動物検疫所訪問

小倉動物検疫所長他と面談し、組合事業の現状報告と消毒終了後の八幡橋消毒所閉鎖について意見交換を行いました。

【財務省貿易統計】

平成29年8月の天然ケーシングの総輸入量は、次のとおりです。

- ・総輸入量 367.0 t (前月比+54.5 t、+17.4%/前年同月比+62.6 t、+20.6%)
- ・中国原産 248.2 t (" +27.6 t、+12.5%/ " +66.7 t、+36.8%)
- ・豪州原産 25.2 t (" △7.3 t、△22.5%/ " △43.0 t、△63.0%)

・NZ原産 74.2 t (// +30.7 t、+70.3%/ // +27.5 t、+58.7%)

【組合受付統計】

平成29年9月の組合受付数量は、次のとおりです。

- ・受付数量 合計：27,730ハクス
(羊腸：27,730ハクス、豚腸：0ハク)
- ・前月比 +19,230ハクス(+226.2%) /前年同月比△972,028ハクス(△97.2%)
*詳しくは組合ホームページをご確認ください。

【組合報告統計】

平成29年8月の輸入数量は、次のとおりです。

- ・報告数量 合計：885,991ハクス
(羊腸：865,691ハクス、豚腸：20,300ハク)

2. 横浜検査所だより

①冷たい秋風が心にしみわたる、しみじみとした季節を迎えました。

検査所での最後の消毒業務もしみじみと行っております。

②9月分の搬入数量及び消毒数量は、次表のとおりです。

種別	前月の繰越分	搬入数量	消毒数量	翌月への繰越分
羊腸	0	27,730	6,230	21,500
豚腸	0	0	0	0
計	0	27,730	6,230	21,500
牛腸	0	0	0	0

(単位：羊・豚腸＝ハクス、牛腸＝Bundle)

3. 今後の主な予定

- 10月25日 第3回組織・財政委員会
- 11月6日 臨時休業(創立記念日)
- 12月20日 第4回組織・財政委員会/第2回理事会

4. 事務局から

○9月14日時点の中国以外の国との新衛生条件の協議状況は、次のとおりです。

- －エジプト : 2施設の現地調査を実施済み、施設指定の可否を判断中
- －パキスタン : 11月に施設調査チームを派遣する方向で調整予定
- －モンゴル : 9月末に対象施設リストが提出され、調査日程を調整中
- －トルコ : 近年、輸入実績がないので、具体的な検討を保留

- 組合ホームページの改善に取り組む方針ですが、抜本的な改善は費用と時間の問題が生じますので、まずは気がついた点から改修していきます。現在、トップページに「業界ニュース」を設けて「組合だより」や「天然ケーシング輸入実績」等を掲載していますが、トップページ左側にも「組合だより」と4つの「統計」の見出しがあり重複しています。近々、この見出しを活用して、4つの統計は一つ見出しと1ページに集約し、「業界ニュース」は「お知らせ」の中に掲載する予定です。

当組合の歴史④：輸入相手国の変遷（通関統計ベース）

－消毒事業開始 昭和39年－

中国・インド・パキスタン・イラン・レバノン・オランダ・西ドイツ・ベルギー・アメリカ・オーストラリア・刊

11ヶ国

－第1次オイルショック 昭和48年－

中国・インド・パキスタン・イラン・レバノン・オランダ・フランス・スペイン・西ドイツ・トルコ・デンマーク・英国・スイス・モロッコ・カナダ・アメリカ・オーストラリア・ニュージーランド・バングラデシュ・イラク・イタリア・グリーンランド

22ヶ国

－BSE発生国からの輸入禁止 平成16年－

中国・モンゴル・インド・パキスタン・トルコ・アメリカ・ブラジル・ウルグアイ・モロッコ・エジプト・オーストラリア・ニュージーランド

12ヶ国

－消毒の廃止 平成29年8月末時点－

中国・モンゴル・パキスタン・アメリカ・ウルグアイ・オーストラリア・ニュージーランド・エジプト・刊

9ヶ国

以上